

## 広島県芸北町における注目すべき種子植物

斎藤 隆登<sup>1)</sup>・田丸 豊生<sup>2)</sup>・暮町 昌保<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> 広島市立口田東小学校・<sup>2)</sup> 広島市立原小学校・<sup>3)</sup> 広島市立高南小学校

### The Noteworthy Seed Plants in Geihoku-cho, Hiroshima Prefecture

Takato SAITO <sup>1)</sup>, Toyoo TAMARU <sup>2)</sup> and Masayasu KUREMACHI <sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> Hiroshima Kuchita-higasi Primary School, Hiroshima 739-17,

<sup>2)</sup> Hiroshima Hara Primary School, Hiroshima 739-01 and

<sup>3)</sup> Hiroshima Kounan Primary School, Hiroshima 739-14

**Abstract:** We studied the flora of Geihoku-cho, and identified 708 different kinds of seed plants between 1991 and 1993. In this study, some 105 noteworthy seed plants out of the above 708 are reported. The criteria for selection of these 105 plants are that some are rarely seen here in Hiroshima Prefecture, while some occupy habitats restricted to the northern part of the prefecture. Or even though they distribute widely in the whole area of the prefecture, they are rarely seen in Geihoku-cho. When they are naturalized plants, they are generally distributed in the southern part of the prefecture, but they are yet rarely seen in Geihoku-cho.

#### はじめに

広島県芸北町における植物に関する記述は、堀川ら(1959)による「三段峡・八幡高原及びその周辺地域所産高等植物目録」が最初である。その後、関ら(1983)による「滝山峡及びその周辺の維管束植物目録」が報告され、鈴木・吉野(1986)により「臥竜山麓公園建設予定地維管束植物目録」が報告されている。しかし、いずれも調査地が芸北町の特定の場所であったり、調査地の一部だけが芸北町に重なるものであったりするため、芸北町全域を調査対象としたものではない。筆者らは、今回、芸北町自然学術調査が実施されるにあたり、芸北町全域の植物相を明らかにすることを目的とした。その調査のまとめとして、芸北町の維管束植物目録を作成中であるが、早急に保護を要する植物もあるので、芸北町の植物の概況として本稿では、芸北町域に生育している、注目すべき種子植物について報告する。本調査を実施するにあたり現地調査の便宜を図ってくださった芸北町教育委員会、及び芸北町自然学術調査団事務局・芸北町教育委員会社会教育主事の池田庄策氏に対しお礼を申し上げる。また、現地調査に同行し協力をいただいた児玉集氏に対しお礼を申し上げる。

## 調査地の概要

芸北町は、ほとんどの地域が西中国山地に位置し、臥竜山(1223m)や阿佐山(1218m)と言った標高の高い山が点在する一方、下山(500m)など標高の低い地点も見られる。また、日本海からの季節風のため冬期の気温が低下する八幡などの地域や、溪谷沿いに南方の温暖な空気が流入する滝山などの地域もある。そのため北方系の植物や南方系の植物が分布する。加えて森林の開発により明るくなった草原が広がり、湿潤な溪谷も多いので、植物が豊かなところである。特徴的な地域をあげると、臥竜山・天狗石山・阿佐山などのブナ、ミズナラが自生している森林地域や、サギソウやサワギキョウ等の湿地特有の植物が生育し、町全域に点々と広がる湿原地域である。また、太田川や江の川の支流には、溪谷の植物や川岸によく見られる植物が分布する地域や、牧場や道端など帰化植物の多い地域もある。歴史的に見ると、「たたら」の燃料として樹木が切り払われ、その後牛馬の飼料として草刈りが行われたため、かつては二次草原が多かったが、徐々に樹木の成長により森林へと移行している地域、原植生を残していた水田のあぜが圃場整備で失われ、単調な植生となった地域も増加している。

## 調査方法

調査は1991年6月から1993年11月の3か年に渡り実施した。芸北町のほぼ全域に渡り、標本の採集や写真撮影、観察記録を実施した。種子植物の学名や和名及び同定は、大井・北川(1992)に従い、ヤナギ科の一部は佐竹ら(1989)の、帰化植物の一部は長田(1976)の学名を用いた。

## 調査結果

1991～1993年の3か年の調査で708種の種子植物を確認した。そのうち今回は105種を注目すべき種子植物としてあげた。次に示す注目すべき種子植物一覧の配列は、大井・北川(1992)に従った。

### 注目すべき種子植物一覧

ヤマトミクリ *Sparganium fallax* Graebn. (ミクリ科)

八幡の尾崎沼、尾崎沼に続く農業用水路、長者原の道端の水路に分布していた。尾崎沼では浅い水中に群生し、農業用水路では三面ともコンクリート張であるが、底に泥が堆積したところに生育していた。比婆郡高野町でも確認したが、全国的に見て希少な種である。堀川ら(1959)ではタマミクリとなっているが、本種の同定の誤りであると思われる。

コバノヒルムシロ *Potamogeton cristatus* Regel et Maack (ヒルムシロ科)

尾崎沼では、スイレンやヒルムシロと水田跡の池に混在していた。全国的に見て希少な種である。堀川ら(1959)や鈴木・吉野(1986)に記録はない。

ヤマアワ *Calamagrostis epigeios* (Linn.) Roth (イネ科)

千町原や尾崎沼では、草地に群生していたが、芸北町全域に分布していた。クサヨシに形態が良く似ているが花穂がさわると固いので区別される。広島県での分布は北に偏っている。堀川ら(1959)には記録があるが、鈴木・吉野(1986)、関ら(1983)にはない。

ヒロハノドジョウツナギ *Glyceria leptolepis* Ohwi (イネ科)

芸北町では、尾崎沼と二川キャンプ場、千町原に分布し、ヨシなどに混じって規模の小さい群落をつくっていた。千町原では中央部を流れる小川の付近に生育していた。広島県で分布は北に偏り、個体数も少な

い。堀川ら(1959), 鈴木・吉野(1986)に記録がある。

ヌマガヤ *Moliniopsis japonica* (Hack.) Hayata (イネ科)

芸北町では尾崎沼や千町原, 二川キャンプ場, 長者原, 溝口, 移原, 細見などの湿地のほか, ほとんどの湿地に分布していた。芸北町の湿地を特長づける種である (Nakagosi & Abe 1995)。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)にも記載がある。

カンガレイ *Scirpus triangulatus* Roxb. (カヤツリグサ科)

尾崎沼の岸に沿って分布していた。茎には三稜があり, 固い。広島県内の生育地は少ない。堀川ら(1959)では, 八幡の記録はない。

シズイ *S. nipponicus* Makino (カヤツリグサ科)

芸北町では, 尾崎沼の水際や二川キャンプ場の池の水辺に分布していた。広島県での個体数は少ない。

フトイ *S. tabernaemontani* Gmel. (カヤツリグサ科)

尾崎沼や二川キャンプ場に分布していた。尾崎沼には, フトイだけの群落がかなり広がっていた。広島県内の生育地は少ない。堀川ら(1959)には記載がない。

オオヌマハリイ *Eleocharis mamillata* Lindb. fil. var. *cyclocarpa* Kitagawa (カヤツリグサ科)

尾崎沼やその近くの休耕田, 長者原, 二川キャンプ場に生育していた。広島県での生育地は少ない。堀川ら(1959), 鈴木・吉野(1986)に記録がある。

コカンスゲ *Carex reinii* Franch. et Savat. (カヤツリグサ科)

三つ滝や滝山峡に分布していた。広島県では普通種であるが芸北町では少ない。

ヒメザゼンソウ *Symplocarpus nipponicus* Makino (サトイモ科)

芸北町全域の谷や湿地に分布していた。広島県での分布は北に偏り, 生育地は少ない。堀川ら(1959)には記載がある。

コナギ *Monochoria vaginalis* Presl var. *plantaginea* (Roxb.) Solms-Laub. (ミズアオイ科)

西八幡原の水田や橋山の休耕田に多数確認した。広島県では普通種であるが芸北町では少ない。堀川ら(1959), 関ら(1983)にも記録があった。

シライトソウ *Chionographis japonica* Maxim. (ユリ科)

三つ滝, 板村で生育していた。三つ滝では数株が点在していた。三つ滝のような湿潤な環境ばかりでなく, 林の縁にも成育していた。堀川ら(1959)に記録があるが, 広島県内の生育地は少ない。

コバイケイソウ *Veratrum stamineum* Maxim. (ユリ科)

臥竜山, 長者原に生育していた。多少湿ったところに分布する。広島県での分布は北に偏り, 生育地は少ない。堀川ら(1959), 鈴木・吉野(1986)には記録されていないが, 関ら(1983)には記録があった。

ホソバシュロソウ *V. maackii* Regel (ユリ科)

芸北町全体に広く分布するが, 尾崎沼や, 二川キャンプ場には特に多数分布していた。乾いた草原でも少し湿った草原でも生育している。広島県での分布は北に偏り, 生育地は少ない。堀川ら(1959)や関ら(1983)ではシュロソウ, 鈴木・吉野(1986)ではホソバシュロソウとしていることについては, 今後の検討を要する。

コバギボウシ *Hosta albo-marginata* (Hook.) Ohwi (ユリ科)

尾崎沼や二川キャンプ場あたりには特に多く分布していた。湿った草原に多い。広島県内の生育地は少ない。ミズギボウシと堀川ら(1959)や鈴木・吉野(1986)に記録されている植物は, コバギボウシである

可能性が高いが今後の検討を要す。

コオニユリ *Lilium leichtlinii* Hook. fil. var. *tigrinum* (Regel.) Nichols. (ユリ科)

芸北町全域に点々と分布していた。千町原のような乾燥傾向にある草原に多い。広島県での分布は北に偏り、生育地は少ない。堀川ら(1959)、関ら(1983)には記録があるが、鈴木・吉野(1986)には記録がない。

ササユリ *L. japonicum* Thunb. (ユリ科)

芸北町全域に分布するが、根こそぎ盗掘されることもあり、減りつつある。芸北町の町花であり、芸北町の植生を特長づける種である。ヤマユリと混同されることがあるが、ヤマユリは別種であり形態もまったく異なる。堀川ら(1959)には三段峡で記録されているが、八幡での産地は記録されていない。

ユキザサ *Smilacina japonica* A. Gray (ユリ科)

臥竜山の山頂付近に生育していた。1000m を越える高い山に分布する。産地は広島県の北に偏り個体数は少ない。堀川ら(1959)には記録がある。

エンレイソウ *Trillium smallii* Maxim. (ユリ科)

臥竜山の山頂付近の標高の高い地点から、溝口のような標高の低い地域までかなり広く分布していた。林の中などのやや湿った場所に自生していた。産地は広島県の北に偏り個体数は少ない。堀川ら(1959)には八幡での記録はない。

サギソウ *Habenaria radiata* (Thunb.) Spreng. (ラン科)

八幡を中心とする芸北町内の湿地に生育していた。八幡では、尾崎沼や長者原の湿原に群生していた。しかし、他の地区の湿地では少し残っている程度であり緊急の保護が必要である。特に、長者原では、園芸業者の盗掘や写真撮影などのために入り込む人の踏みつけなどによって絶滅の危機にある。全国的に見て希少な種である(わが国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会 1989)。堀川ら(1959)に八幡にあると記載されている。

ミズチドリ *Platanthera hologlottis* Maxim. (ラン科)

尾崎沼や長者原の湿原に生育していた。広島県での産地は少なく、個体数の少ない貴重な種である。堀川ら(1959)では八幡にあると記載がある。

ツチアケビ *Galeola septentrionalis* Reichb. fil. (ラン科)

臥竜山の登山口付近に一株自生していた。広島県内に広く分布するが、個体数は少ない。堀川ら(1959)には八幡の記載はない。

トキソウ *Pogonia japonica* Reichb. fil. (ラン科)

尾崎沼や長者原の湿原、荒神原や細見の湿地に分布していた。広島県内での個体数は少なく、希少である。堀川ら(1959)には八幡にあると記載がある。

キンラン *Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume (ラン科)

臥竜山と東八幡で数株記録した。広島県内での個体数は非常に少なく希少である。東八幡の自生地には数株点在していたが、保護しないと絶滅の恐れがある。堀川ら(1959)には八幡の産地がない。

カキラン *Epipactis thunbergii* A. Gray (ラン科)

尾崎沼の湿原の中や、隠岩の湿原に群生していた、また、道端の草地にも点在していた。群生地を除くと広島県での分布は限られ希少種である。堀川ら(1959)では八幡で記録されている。

アケボノシュスラン *Goodyera foliosa* (Lindl.) Benth. var. *laevis* Finet. (ラン科)

臥竜山では、登山道に沿って群生していた。広島県での分布は狭く、個体数も少ない希少種である。堀川ら(1959)にも八幡にあると記録されている。

サルメンエビネ *Calanthe tricarinata* Lindl. (ラン科)

芸北町では、八幡に数か所に渡り数株ずつ生育していた。しかし、全国的に見て希少種であり、盗掘などのため保護しないと絶滅の恐れがある。堀川ら(1959)では三段峡での記録はあるが八幡はない。

タチヤナギ *Salix subfragilis* Anderson (ヤナギ科)

芸北町では、小原で1個体の生育を確認した。川沿いやため池、ダムなどに自生していることが多い。広島県内の分布は広いが、芸北町では希少である。ヤナギ属は分類がむつかしいが、タチヤナギは花の時期には確実に同定できる。本種についての学名は、佐竹ら(1989)に従った。

ハシバミ *Corylus heterophylla* Fischer var. *thunbergii* Blume (カバノキ科)

芸北町では、今回隠岩と俵原で確認した。ツノハシバミは広島県下で普通に見られるが、ハシバミの県内での産地は少ない。堀川ら(1959)には八幡の記載があり、鈴木・吉野(1986)でも千町原に分布していたという報告があるが、筆者らは確認していない。

ブナ *Fagus crenata* Blume (ブナ科)

臥竜山・天狗石山・阿佐山に分布していた。広島県では、中国山地の頂上部など県の北部に自生地が限定される。全国的に減少しており、中国山地では特にその傾向の著しいブナ林の、最重要構成種であるため貴重である。個体数は少なくはないがブナ林として保護する必要がある。

イヌブナ *F. japonica* Maxim. (ブナ科)

滝山峡に点々と生育していた。広島県内の生育地は少ない。ブナに似ているが、葉の裏に毛が多いので区別がつく。ブナより標高が低いところに出てくる。堀川ら(1959)には八幡で記録されているが、本調査では確認できなかった。

ミズナラ *Quercus mongolica* Fischer var. *grosseserrata* (Blume) Rehd. et Wils. (ブナ科)

芸北町全域に点々と生育していた。町の代表的な落葉樹である。広島県での分布は県の北部であるが、芸北町では普通種である。ブナ帯の植物で、標高が低くなる場所では、本種の生態的地位(ニッチ)はコナラに置き代わる。

オヒョウ *Ulmus laciniata* (Trautv.) Mayr (ニレ科)

臥竜山の中腹に、まとまって自生していた。広島県下での分布は狭く、個体数が少なく貴重である。堀川ら(1959)では三段峡だけ記録があり、八幡の産地はない。

ムカゴイラクサ *Laportea bulbifera* (Sieb. et Zucc.) Weddell (イラクサ科)

臥竜山の林道わきに生育していた。広島県での分布は県の北部に限られる。堀川ら(1959)にも八幡での記録がある。

ヒメカンアオイ *Asarum takaai* F. Maekawa (ウマノスズクサ科)

芸北町では、八幡、荒神原、橋山での生育を確認した。全国的に見て個体数が少ないので貴重である。堀川ら(1959)にはウマノスズクサ科の記録はない。

ミヤマタニソバ *Polygonum debile* Meisn. (タデ科)

臥竜山の登山道脇に群生していた。広島県では、県の北部にだけ分布している。堀川ら(1959)にも八幡の記録がある。

オオネバリタデ *Polygonum viscoferum* Makino var. *robustum* Makino (タデ科)

千町原で遊歩道沿いに分布していた。広島県内での個体数は少なく貴重である。堀川ら(1959), 鈴木・吉野(1986)には記録がないことから, これらの調査以後人為的に移入された可能性が高い。

フシグロセンノウ *Lychnis miqueliana* Rohrb. (ナデシコ科)

芸北町全域に分布していた。場所によっては群生していたが, 広島県での個体数は少ない。堀川ら(1959)には八幡での記録がある。

フシグロ *Silene firma* Sieb. et Zucc. (ナデシコ科)

深山や千町原の道沿いに分布していた。細く小さい花なので, ほかの草に紛れて見逃しやすい。広島県内の個体数は少なく貴重である。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)には記録がない。

ジュンサイ *Brasenia schreberi* J. F. Gmel. (スイレン科)

尾崎沼では個体数が多く水面を広く覆っていた。また, 隠岩の池でもヒルムシロと共に生育していた。広島県では普通種であるが, 芸北町では少ない種である。堀川ら(1959)に記録されていないことから, 堀川ら(1959)の調査以後人為的に移入された可能性が高い。

サンヨウブシ *Aconitum sanyoense* Nakai (キンポウゲ科)

芸北町では, 阿佐山, 天狗石山, 大佐山のふもとで記録した。広島県での分布は非常に限られ, 個体数も少ないので貴重である。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)には記録がない。

サラシナショウマ *Cimicifuga simplex* Wormsk. (キンポウゲ科)

芸北町全域に分布し, 千町原では, 群生していた。広島県では北部を中心に分布する。

オオバショウマ *C. acerina* (Sieb. et Zucc.) C. Tanaka (キンポウゲ科)

溝口から臥竜山まで芸北町全域の林の中に見られる。広島県では北部を中心に分布する。

リュウキンカ *Caltha palustris* Linn. var. *membranacea* Turcz. (キンポウゲ科)

尾崎沼の小川, 長者原の湿地に注ぐ小川に群生していた。芸北町の他の地区では生育しておらず, 広島県での分布が少なく貴重である。堀川ら(1959)では, エンコウソウだけが記録されて, リュウキンカはない。リュウキンカをエンコウソウとしたものと思われる。

オオヤマレンゲ *Magnolia sieboldii* K. Koch (モクレン科)

芸北町では天狗石山だけに自生していた。吉和冠山や比婆山にあるが, 広島県での個体数は非常に少なく貴重である。天狗石山の自生地は盗掘の恐れがあるため, 早急な保護が必要である。

コブシ *M. kobus* DC. (モクレン科)

臥竜山の山麓に点々と分布していた。広島県では北部を中心に分布する。個体数は少ない。

カナクギノキ *Lindera erythrocarpa* Makino (クスノキ科)

芸北町では, 川小田に一個体だけ記録した。広島県内に広く分布するが, 芸北町では個体数が少なく貴重である。堀川ら(1959)でも, 八幡の記録はない。

ハルザキヤマガラシ *Barbarea vulgaris* R. Br. (アブラナ科)

八幡の所々に帰化し, 時に群落となっている。鈴木・吉野(1986)には記録されているが, 近年移入された種である。学名は長田(1976)に従った。

ヒメレンゲ *Sedum subtile* Miq. (ベンケイソウ科)

臥竜山の登山道沿いには群生していたが, 広島県での分布は広くなく貴重である。堀川ら(1959)では, 八幡の記録はない。

シラヒゲソウ *Parnassia foliosa* Hook. fil. et Thoms. var. *nummularia* (Maxim.) T. Ito (ユキノシタ科)

芸北町全域の湿地に生育していた。芸北町での個体数は多いが、広島県全体から見ると貴重である。

ウメバチソウ *P. palustris* Linn. (ユキノシタ科)

聖湖キャンプ場横の国道沿いにはかなり広い群落があり、千町原、尾崎沼、二川キャンプ場にも分布していた。芸北町内の他の地区では、移原に群落があった。芸北町での個体数は多いが、広島県全体から見ると貴重である。

ヤマブキショウマ *Anuncus dioicus* (Walt.) Fernald var. *tenuifolius* (Nakai) Hara (バラ科)

雲月山や才乙に点々と分布していた。芸北町での分布は限定されており、広島県内でも個体数が少なく貴重である。

ハスノハイチゴ *Rubus peltatus* Maxim. (バラ科)

臥竜山の登山道わきに群生していた。広島県での分布は北部に限定されており個体数も少ない。

シモツケソウ *Filipendula multijuga* Maxim. (バラ科)

三つ滝、長者原、荒神原、奥中原で記録した。キョウガノコによく似ている。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)には三段峡が記録されているが、八幡の産地は記録がない。

ナガボノシロワレモコウ *Sanguisorba tenuifolia* Fisch. (バラ科)

尾崎沼、長者原の湿地などに生育していた。ワレモコウに比べの穂が長く、ワレモコウが草原に多いのに対し、本種は湿地に多い。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)、鈴木・吉野(1986)に記録されていた。なお、穂の赤いタイプをナガボノアカワレモコウと呼ぶ。

ナンキンナナカマド *Sorbus gracilis* (Sieb. et Zucc.) C. Koch (バラ科)

芸北町では、三つ滝で記録したが、広島県での個体数は少なく貴重である。堀川ら(1959)でも三段峡で記録されている。

ビッチュウフウロ *Geranium yoshinoi* Makino (フウロソウ科)

芸北町全域に分布していたが、広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)、鈴木・吉野(1986)に記録がある。

エゾユズリハ *Daphniphyllum macropodum* Miq. var. *humile* (Maxim.) Rosenthal (トウダイグサ科)

芸北町全域の林の中に生育していた。しかし、広島県内の自生地は少なく貴重である。

フウリンウメモドキ *Ilex geniculata* Maxim. (モチノキ科)

芸北町では臥竜山、天狗石山で記録した。広島県内での個体数は少なく貴重である。

ミヤマウメモドキ *I. nipponica* Makino (モチノキ科)

芸北町では、尾崎沼や荒神原の湿地で記録した。しかし、広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)には記録されていない。

ヒロハツリバナ *Euonymus macropterus* Rupr. (ニシキギ科)

芸北町では、三つ滝に生育していた。しかし、広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)には記録されているが、関ら(1983)には記録が無い。

ハウチワカエデ *Acer japonicum* Thunb. (カエデ科)

芸北町全域に見られたが、広島県内の自生地は少なく貴重である。

カラコギカエデ *A. aidzuense* (Franch.) Nakai (カエデ科)

二川キャンプ場付近や長者原では群生していたが、広島県内の自生地は少なく貴重である。

アサノハカエデ *A. argutum* Maxim. (カエデ科)

芸北町では、臥竜山の東部や天狗石山の山麓で記録した。群生しているところもあるが、広島県内での個体数は少なく貴重である。

コミネカエデ *A. micranthum* Sieb. et Zucc. (カエデ科)

芸北町では、天狗石山の登山道で確認しただけであり、芸北町では貴重である。堀川ら(1959)でも八幡の記録はない。

クロカンバ *Rhamnus costata* Maxim. (クロウメモドキ科)

分布は限られ、臥竜山の中腹に数本生育していたのみである。広島県内では他の自生地は知られておらず、貴重である。

ナツツバキ *Stewartia pseudo-camellia* Maxim. (ツバキ科)

芸北町全域に分布していたが、自生地は広島県北部に限られる。

トモエソウ *Hypericum ascyron* Linn. (オトギリソウ科)

分布は町全域であるが、千町原では一大群落をつくっていた。広島県内の自生地は少なく貴重である。

スミレサイシン *Viola vaginata* Maxim. (スミレ科)

臥竜山から滝山峡まで分布していた。広島県内の自生地は少なく貴重である。スミレサイシンとナガバノスミレサイシンとの差異は今後検討する必要がある。

イイギリ *Idesia polycarpa* Maxim. (イイギリ科)

芸北町では、滝山峡に生育していた。広島県南部まで分布するが、広島県での個体数は少なく貴重である。

シラネセンキュウ *Angelica polymorpha* Maxim. (セリ科)

町全域の川ぞいに分布していたが、自生地は広島県北部に限られる。堀川ら(1959)では八幡の記録はない。

オオイワカガミ *Shortia soldanelloides* (Sieb. et Zucc.) Makino var. *magna* Makino (イワウメ科)

滝山峡の溪谷の上部には普通に分布していたが、自生地は広島県北部に限られる。臥竜山にはイワカガミも自生している可能性があるため今後検討の必要がある。堀川ら(1959)には八幡の産地はなく記録漏れと思われる。

キシツツジ *Rhododendron ripense* Maxim. (ツツジ科)

広島市から芸北町まで、広く分布していた。カワラハンノキ、ネコヤナギなどと共に芸北町の川岸の代表的な植物である。

レンゲツツジ *R. japonicum* (A. Gray) Suringer (ツツジ科)

芸北町全域に点々と分布していた。湿地から草原までと分布は広いが、広島県内での分布は少なく貴重である。

アカモノ *Gaultheria adenothrix* (Miq.) Maxim. (ツツジ科)

東八幡原、雲月山、才乙と広く分布していたが、広島県内の自生地は少なく貴重である。

サクラソウ *Primula sieboldii* E. Morren. (サクラソウ科)

八幡原、小原、溝口に点々と、あるいは群落となって分布していた。全国的に見て自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)には記録がない。

ハルリンドウ *Gentiana thunbergii* (G. Don) Griseb. (リンドウ科)

芸北町では、聖湖のキャンプ場に群生していた。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)にはフデリンドウが三段峡に記録されているがハルリンドウの記録はない。

アサザ *Nymphoides peltata* (Gmel.) O. Kuntze (リンドウ科)

二川キャンプ場の池と、川小田の池の2か所で記録した。全国的に見て希少である。

ツルニガクサ *Teucrium viscidum* Blume var. *miquelianum* (Maxim.) Hara (シソ科)

芸北町では、奥中原と枕の2か所で確認した。堀川ら(1959)には三段峡の記録がある。広島県内の自生地は少なく貴重である。

オオマルバノホロシ *Solanum megacarpum* Koidz. (ナス科)

八幡に生育していた。広島県内の自生地は少なく貴重である。

モウズイカ *Verbascum blattaria* Linn. (ゴマノハグサ科)

千町原に生育していた。珍しい帰化植物である。本種の学名は長田(1976)に従った。

ミゾホオズキ *Mimulus nepalensis* Benth. var. *japonica* Miq. ex Maxim. (ゴマノハグサ科)

八幡の分布地は、林の縁で小川のそばであった。広島県内での自生地は少なく貴重である。

ツクシゴメグサ *Euphrasia multifolia* Wettst. (ゴマノハグサ科)

芸北町では二川キャンプ場で記録した。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)ではコメグサと記録されているが、同定の誤りと思われる。

シオガマギク *Pedicularis resupinata* Linn. (ゴマノハグサ科)

芸北町では、八幡と雲月山で記録したのみである。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)にも八幡から記録されている。

カンボク *Viburnum sargentii* Koehne (スイカズラ科)

八幡や荒神原に分布していた。広島県北部の山地に分布しているが、個体数は少なく貴重である。

オオカメノキ *V. furcatum* Blume (スイカズラ科)

芸北町全域に点々と分布していた。広島県内の自生地は少なく、貴重である。

オトコヨウゾメ *V. phlebotrichum* Sieb. et Zucc. (スイカズラ科)

芸北町では全域に分布していた。広島県内の自生地は少なく貴重である。

マツムシソウ *Scabiosa japonica* Miq. (マツムシソウ科)

尾崎沼や二川キャンプ場、聖湖キャンプ場などで記録した。広島県内での個体数は少なく貴重である。堀川ら(1959)、鈴木・吉野(1986)に記録がある。

ヒナギキョウ *Wahlenbergia marginata* (Thunb.) A. DC. (キキョウ科)

芸北町では千町原で数本生育していた。広島県全域に分布するが、芸北では希少である。堀川ら(1959)、関ら(1983)、鈴木・吉野(1986)のいずれにも記録はない。

サワギキョウ *Lobelia sessilifolia* Lamb. (キキョウ科)

芸北町の湿原のほとんどに自生していたが、盗掘のため減少している。広島県での分布は少ない。

オオアワダチソウ *Solidago gigantea* Ait. var. *leiophylla* Fern. (キク科)

八幡、荒神原、川小田などに自生していた。セイタカアワダチソウは、川土手や空き地などに群生しているが、本種は何本かが集まっている程度である。花の時期も8月ごろで早い。帰化植物であり堀川ら(1959)、関ら(1983)、鈴木・吉野(1986)には記録がない。学名は長田(1976)に従った。

チチコグサモドキ *Gnaphalium purpureum* Linn. var. *spathulatum* (Lam.) Baker (キク科)

千町原で数本記録した。広島市では多数帰化しているの、今後増えると思われる。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)に記録はない。学名は長田(1976)に従った。

ホソバナヤマハハコ *Anaphalis margaritacea* (Linn.) Benht. et Hook. fil. var. *angustifolia* (Franch. et Savat.) Hayata (キク科)

芸北町では雲月山でしか産地を記録しなかった。乾いたススキ野原の縁にあった。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)に記録はない。

サワシロギク *Aster rugulosus* Maxim. (キク科)

荒神原や隠岩などの湿地に群生していた。広島県内での分布は少なく貴重である。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)に記録はない。

ハンカイソウ *Ligularia japonica* (Thunb.) Less. (キク科)

芸北町全域に分布していた。広島県での分布は少なく貴重である。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)に記録されている。

オオハンゴンソウ *Rudbeckia laciniata* Linn. (キク科)

長者原や千町原に分布し、千町原のものは群生していた。帰化植物であり、芸北町では個体数は少ない。堀川ら(1959), 関ら(1983), 鈴木・吉野(1986)に記録はない。学名は長田(1976)に従った。

サワオグルマ *Senecio pierotii* Miq. (キク科)

芸北町内の湿地には群生していたが、広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)には記録されていないが、鈴木・吉野(1986)には記録されている。

モミジガサ *Cacalia delphiniifolia* Sieb. et Zucc. (キク科)

臥竜山の頂上部で確認した。広島県での分布は少なく貴重である。堀川ら(1959)には記録されている。オオカニコウモリ *C. nikomontana* Matsum. (キク科)

溝口や移原に群生していた。広島県での分布は北部に限られ、個体数も少なく貴重である。近縁種のカニコウモリは堀川ら(1959)には八幡に記録されているが、本調査では確認できなかった。

ニシノヤマタイミンガサ *Cacalia yatabei* Matsum. et Koidz. var. *occidentalis* F. Maekawa ex Kitam. (キク科)

臥竜山の山頂部に群生していた。広島県内の自生地は少なく貴重である。堀川ら(1959)でヤマタイミンガサとなっていることについては今後の検討が必要である。

リュウノウギク *Chrysanthemum makinoi* Matsum. et Nakai (キク科)

芸北町では、雲月山だけに分布していた。広島県全域に分布しているが、芸北では希少である。堀川ら(1959), 鈴木・吉野(1986)にはないが関ら(1983)に記録されている。

キセルアザミ *Cirsium sieboldii* Miq. (キク科)

芸北町全域に分布していた。芸北町の湿原の代表的な植物である (Nakagoshi & Abe 1995)。

ホクチアザミ *Saussurea gracilis* Maxim. (キク科)

雲月山, 掛け頭山, 二川キャンプ場に生育していた。広島県での分布は北部に限られ、個体数も少なく貴重である。堀川ら(1959), 鈴木・吉野(1986)には記録がない。

タムラソウ *Serratula coronata* Linn. var. *insularis* (Iljin) Kitam. (キク科)

芸北町全域の湿地や湿地の縁に群生していた。芸北町の湿地や湿った草原を特色づける植物である。堀川ら(1959)には八幡の記録がない。

## 考 察

1991～1993年にかけての調査で確認した708種の種子植物の中で、注目すべき105種の種子植物をあげた。その選定理由ごとの種数は、1)全国的に見て希少な種7、2)県内での分布が少なく希少な種68、3)県内では普通種であるが、芸北町では希少な種8、4)自生地が県の北部に限定される種12、5)芸北町の植生を特長づける種5、6)帰化の進行を指標する種5、7)分類あるいは同定に問題がある種6である。全国的に見て希少な種は「わが国における保護上重要な植物種の現状」(1989)に載録されているヤマトミクリ、コバノヒルムシロ、サギソウ、サルメンエビネ、ヒメカンアオイ、サクラソウ、アサザであるが、1)、2)、3)の合計は83となり708種の12%にあたる。このことから芸北町には希少種が多数生育していることが分かる。

堀川ら(1959)の報告以来34年ほど経過しているが、帰化植物のわずかの侵入を除けば植物相としては大きな変化はない。しかし、サギソウのように、現在も生育しているが、その株の数は大きく減少している種が多数存在していることから、植物相の推移を注意深く観察する事のみならず、生育環境も含めた保護対策の早急な実施が望まれる。

## 参 考 文 献

- 堀川芳雄・鈴木兵二・中西 哲・安藤久二 1959 三段峡・八幡高原及びその周辺地域所産高等植物目録。三段峡と八幡高原(総合学術調査研究報告)195-224p. 広島県教育委員会。
- 角野康郎 1994 日本水草図鑑。179pp. 文一総合出版。
- Nakagoshi, N. and Abe, T. 1995. Recent changes in mire vegetation in Yawata, southwestern Japan. *Wetlands Ecology and Management* 3: 97-109.
- 大井次三郎・北川政夫 1992 新日本植物誌頭花編。1716pp. 至文堂。
- 長田武正 1976 原色日本帰化植物図鑑。425pp. 保育社。
- 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫 1989 日本の野生植物木本編Ⅰ・Ⅱ。Ⅰ 321pp., Ⅱ 305pp. 平凡社。
- 関 太郎・中西弘樹・吉野由紀夫・宝理信也・田丸豊生・松村雅文・鈴木兵二 1983 滝山峡及びその周辺の維管束植物目録。滝山峡総合学術調査研究報告。237-294p. 滝山峡総合学術調査委員会
- 鈴木兵二・吉野由紀夫 1986 臥竜山麓公園建設予定地維管束植物目録 臥竜山麓公園(仮称)地域の環境調査報告書。8-32p. 広島県。
- わが国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会(編) 1989 我が国における保護上重要な植物種の現状。日本自然保護協会。

1995年12月8日受付;1996年2月8日受理

図版 1

- A : ヤマトミクリ *Sparganium fallax* Graebn. 尾崎沼  
B : コバノヒルムシロ *Potamogeton cristatus* Regel et Maack 尾崎沼  
C : カンガレイ *Scirpus triangulatus* Roxb. 尾崎沼  
D : ヒロハノドジョウツナギ *Glyceria leptolepis* Ohwi 尾崎沼  
E : ヌマガヤ *Moliniopsis japonica* (Hack.) Hayata 尾崎沼  
F : シズイ *Scirpus nipponicus* Makino 尾崎沼  
G : ヤマアワ *Calamagrostis epigeios* (Linn.) Roth 千町原  
H : コカンスゲ *Carex reinii* Franch. et Savat. 滝山峡  
I : オオヌマハリイ *Eleocharis mamillata* Lindb. fil. var. *cyclocarpa* Kitagawa 二川キャンプ場  
J : フトイ *Scirpus tabernaemontani* Gmel. 二川キャンプ場

图版 1

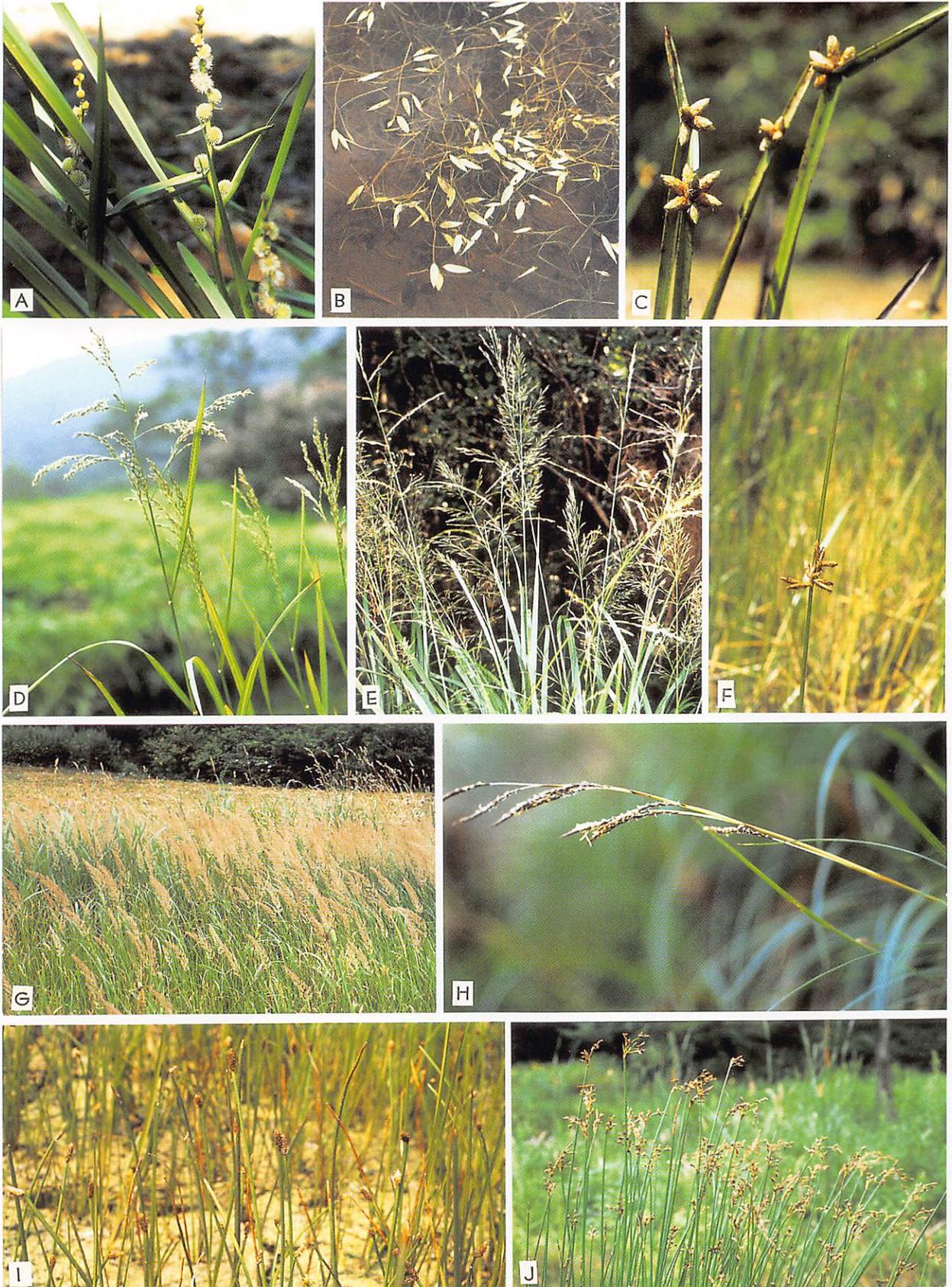


図 版 2

- A : ヒメザゼンソウ *Symplocarpus nipponicus* Makino 長者原  
B : コナギ *Monochoria vaginalis* Presl var. *plantaginea* (Roxb.) Solms-Laub. 八幡原  
C : コバギボウシ *Hosta albo-marginata* (Hook.) Ohwi 千町原  
D : シライトソウ *Chionographis japonica* Maxim. 三ッ滝  
E : コバイケイソウ *Veratrum stamineum* Maxim. 長者原  
F : ホソバシュロソウ *Veratrum maackii* Regel 二川キャンプ場  
G : コオニユリ *Lilium leichtlinii* Hook. fil. var. *tigrinum* (Regel.) Nichols. 千町原  
H : エンレイソウ *Trillium smallii* Maxim. 臥竜山  
I : ササユリ *Lilium japonicum* Thunb. 移原  
J : ユキザサ *Smilacina japonica* A. Gray 臥竜山

图版 2



図 版 3

- A : サギソウ *Habenaria radiata* (Thunb.) Spreng. 長者原  
B : トキソウ *Pogonia japonica* Reichb. fil. 尾崎沼  
C : ミズチドリ *Platanthera hologlottis* Maxim. 長者原  
D : キンラン *Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume 東八幡原  
E : カキラン *Epipactis thunbergii* A. Gray 尾崎沼  
F : アケボノシュスラン *Goodyera foliosa* (Lindl.) Benth. var. *laevis* Finet. 臥竜山  
G : サルメンエビネ *Calanthe tricarinata* Lindl. 東八幡原  
H : ツチアケビ *Galeola septentrionalis* Reichb. fil. 臥竜山

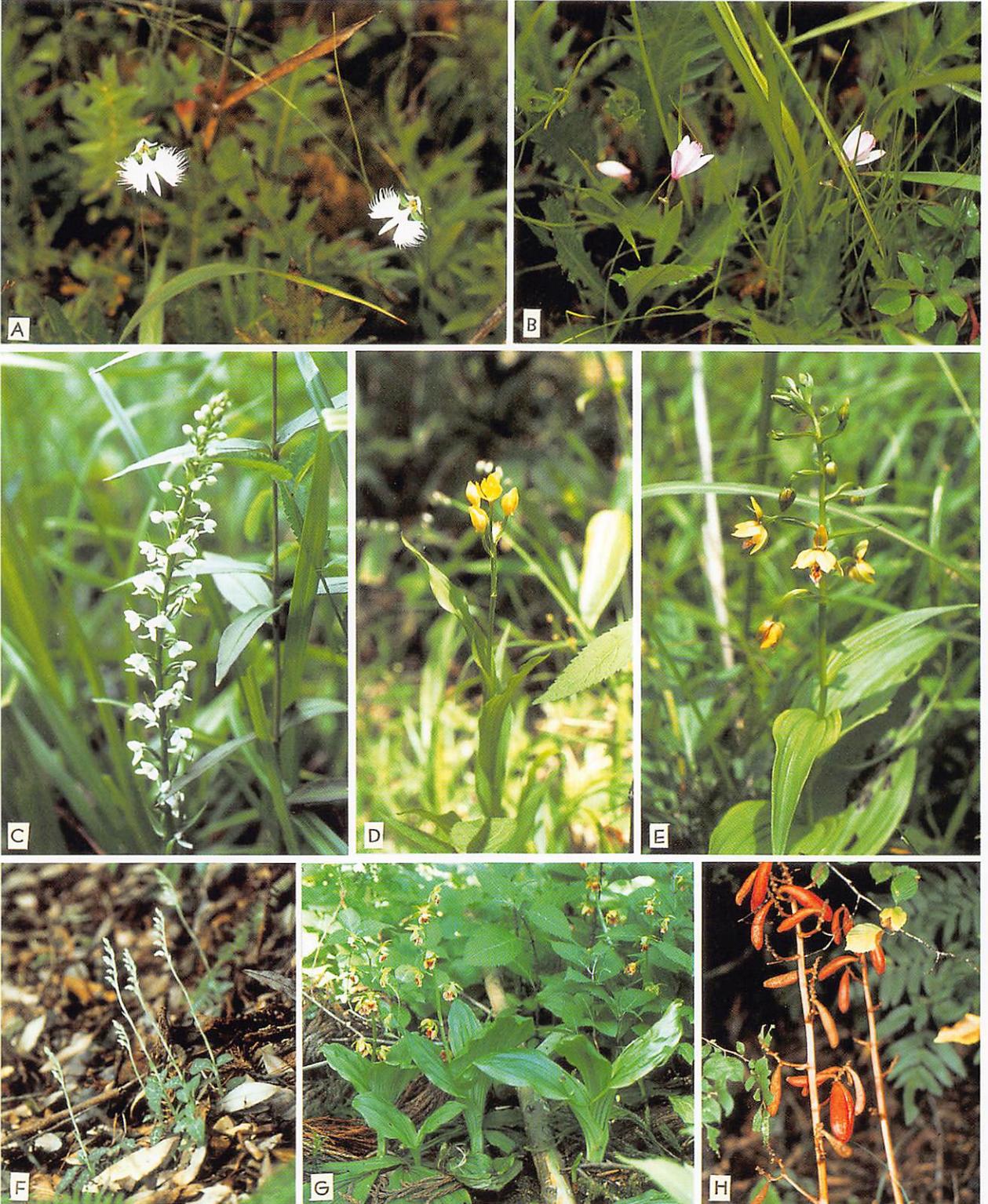
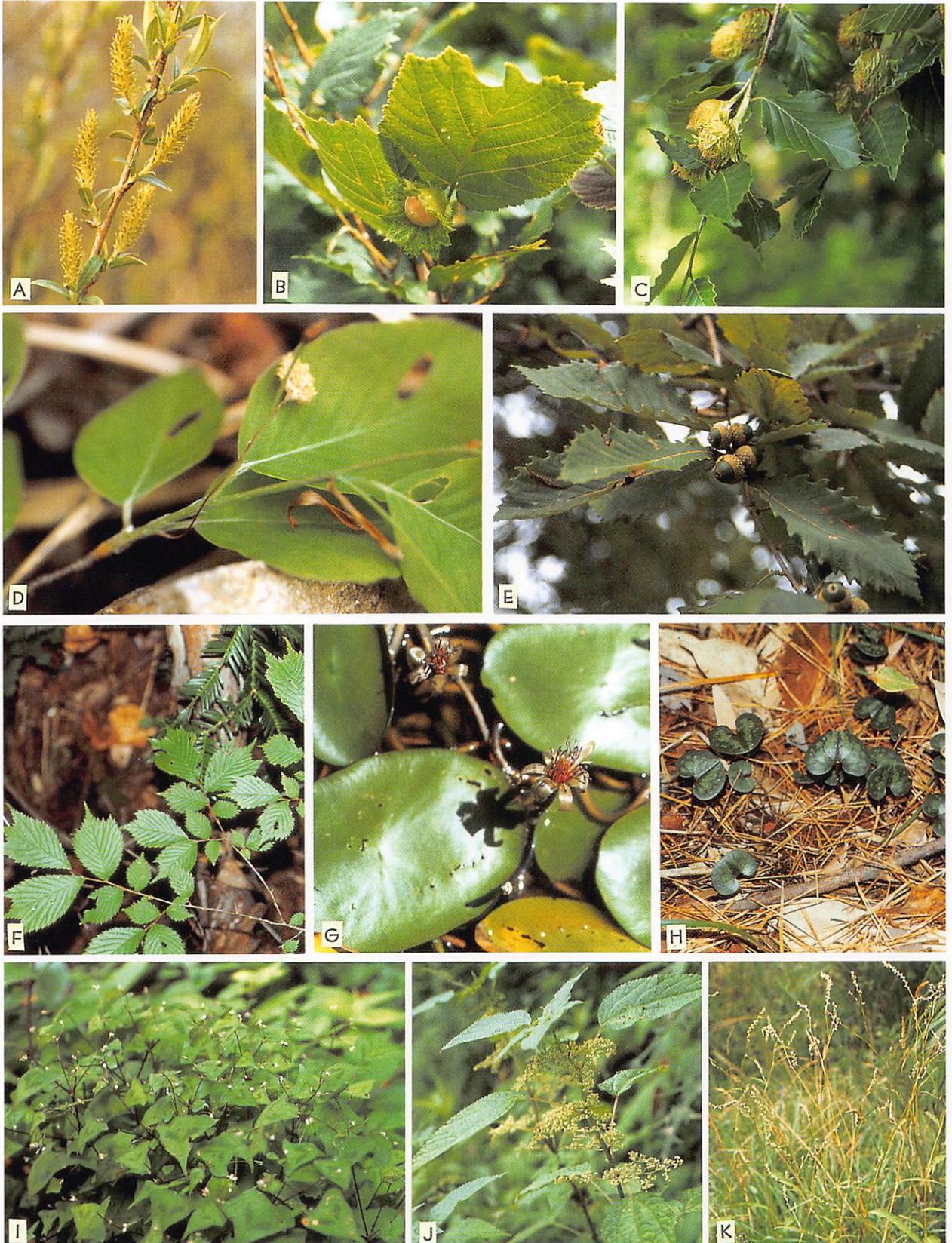


図 版 4

- A : タチヤナギ *Salix subfragilis* Anderson 小原  
B : ハシバミ *Corylus heterophylla* Fischer var. *thunbergii* Blume 隠岩  
C : ブナ *Fagus crenata* Blume 臥竜山  
D : イヌブナ *Fagus japonica* Maxim. 滝山峡  
E : ミズナラ *Quercus mongolica* Fischer var. *grosseserrata* (Blume) Rehd. et Wils. 臥竜山  
F : オヒョウ *Ulmus laciniata* (Trautv.) Mayr 臥竜山  
G : ジュンサイ *Brasenia schreberi* J. F. Gmel. 尾崎沼  
H : ヒメカンアオイ *Asarum takaoi* F. Maekawa 長者原  
I : ミヤマタニソバ *Polygonum debile* Meisn. 臥竜山  
J : ムカゴイラクサ *Laportea bulbifera* (Sieb. et Zucc.) Weddell 臥竜山  
K : オオネバリタデ *Polygonum viscoferum* Makino var. *robustum* Makino 千町原

图版 4



- A : フシグロセンノウ *Lychnis miqueliana* Rohrb. 枕  
B : フシグロ *Silene firma* Sieb. et Zucc. 千町原  
C : サンヨウブシ *Aconitum sanyoense* Nakai 阿佐山  
D : サラシナシヨウマ *Cimicifuga simplex* Wormsk. 千町原  
E : オオバシヨウマ *Cimicifuga acerina* (Sieb. et Zucc.) C. Tanaka 溝口  
F : ハルザキヤマガラシ *Barbarea vulgaris* R. Br. 西八幡原  
G : リュウキンカ *Caltha palustris* Linn. var. *membranacea* Turcz. 尾崎沼  
H : コブシ *Magnolia kobus* DC. 長者原  
I : カナクギノキ *Lindera erythrocarpa* Makino 大仙原  
J : オオヤマレンゲ *Magnolia sieboldii* K. Koch 天狗石山  
K : ヒメレンゲ *Sedum subtile* Miq. 臥竜山

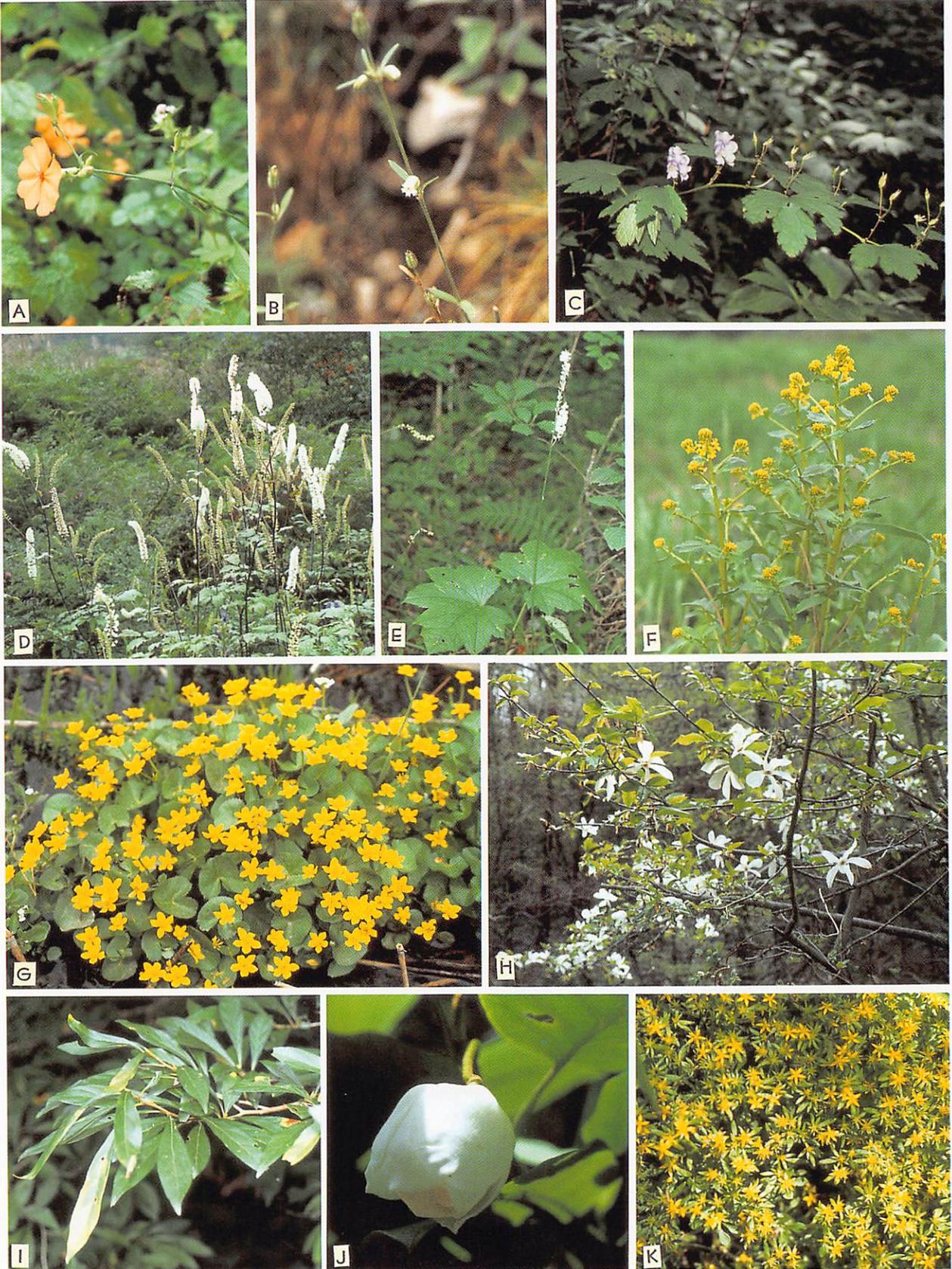


図 版 6

- A : シラヒゲソウ *Parnassia foliosa* Hook. fil. et Thoms. var. *nummularia* (Maxim.) T. Ito 長者原  
B : ウメバチソウ *Parnassia palustris* Linn. 長者原  
C : ヤマブキショウマ *Aruncus dioicus* (Walt.) Fernald var. *tenuifolius* (Nakai) Hara 雲月山  
D : ハスノハイチゴ *Rubus peltatus* Maxim. 臥竜山  
E : シモツケソウ *Filipendula multijuga* Maxim. 三つ滝  
F : ナガボノシロワレモコウ *Sanguisorba tenuifolia* Fisch. 長者原  
G : ナガボノシロワレモコウ (赤花) *Sanguisorba tenuifolia* Fisch. 尾崎沼  
H : ナンキンナナカマド *Sorbus gracilis* (Sieb. et Zucc.) C. Koch 三つ滝  
I : ビッチュウフウロ *Geranium yoshinoi* Makino 長者原  
J : エゾユズリハ *Daphniphyllum macropodum* Miq. var. *humile* (Maxim.) Rosenthal 臥竜山  
K : フウリンウメモドキ *Ilex geniculata* Maxim. 臥竜山  
L : ミヤマウメモドキ *Ilex nipponica* Makino 尾崎沼

图版 6

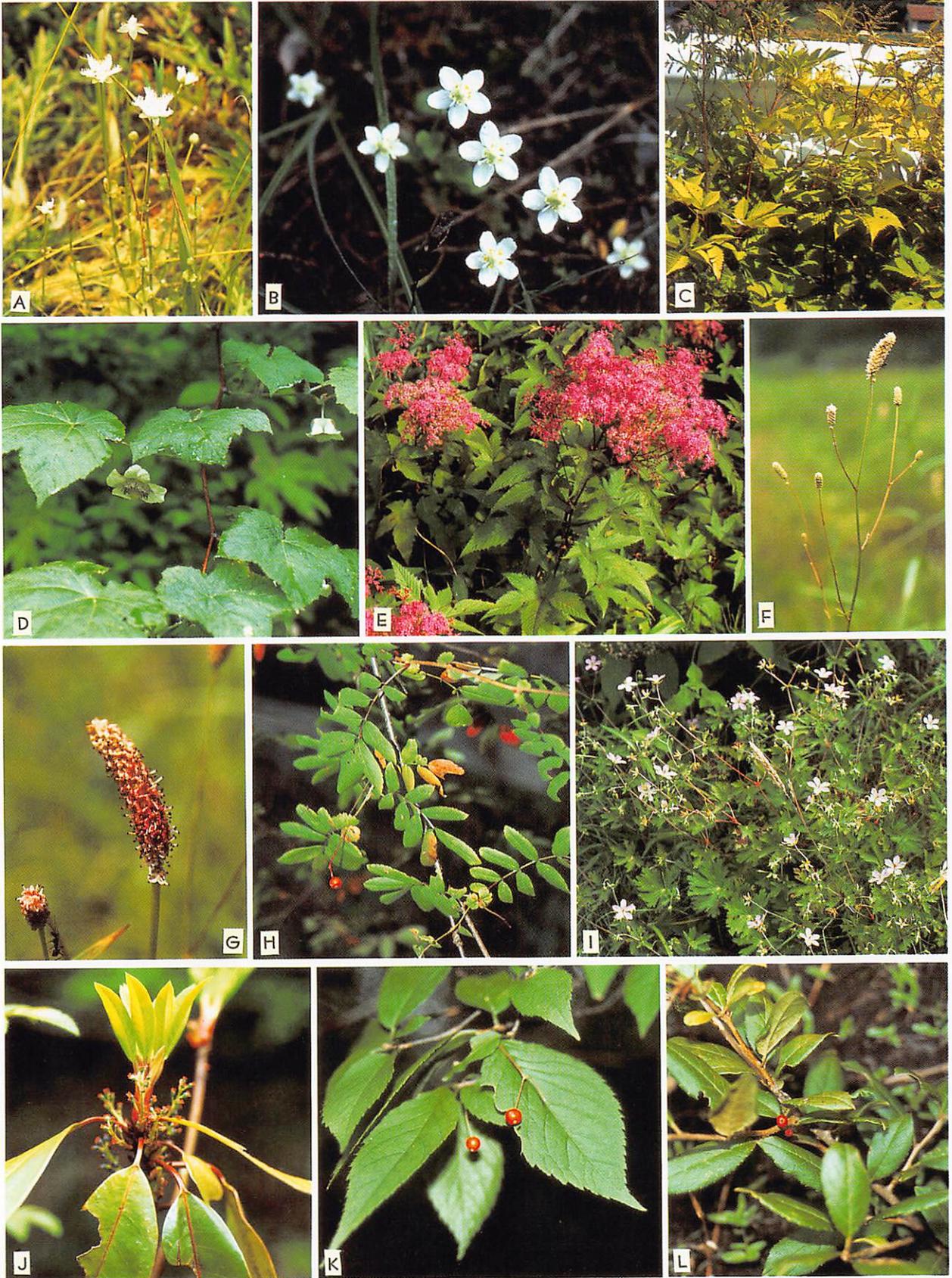


図 版 7

- A : ヒロハツリバナ *Euonymus macropterus* Rupr. 三つ滝  
B : ハウチワカエデ *Acer japonicum* Thunb. 聖湖  
C : カラコギカエデ *Acer aidzuense* (Franch.) Nakai 千町原  
D : クロカンバ *Rhamnus costata* Maxim. 臥竜山  
E : コミネカエデ *Acer micranthum* Sieb. et Zucc. 天狗石山  
F : アサノハカエデ *Acer argutum* Maxim. 臥竜山  
G : ナツツバキ *Stewartia pseudo-camellia* Maxim. 千町原  
H : トモエソウ *Hypericum ascyron* Linn. 千町原  
I : スミレサイシン *Viola vaginata* Maxim. 臥竜山  
J : イイギリ *Idesia polycarpa* Maxim. 滝山峡  
K : シラネセンキュウ *Angelica polymorpha* Maxim. 滝山峡  
L : オオイワカガミ *Shortia soldanelloides* (Sieb. et Zucc.) Makino var. *magna* Makino 滝山峡

图版 7

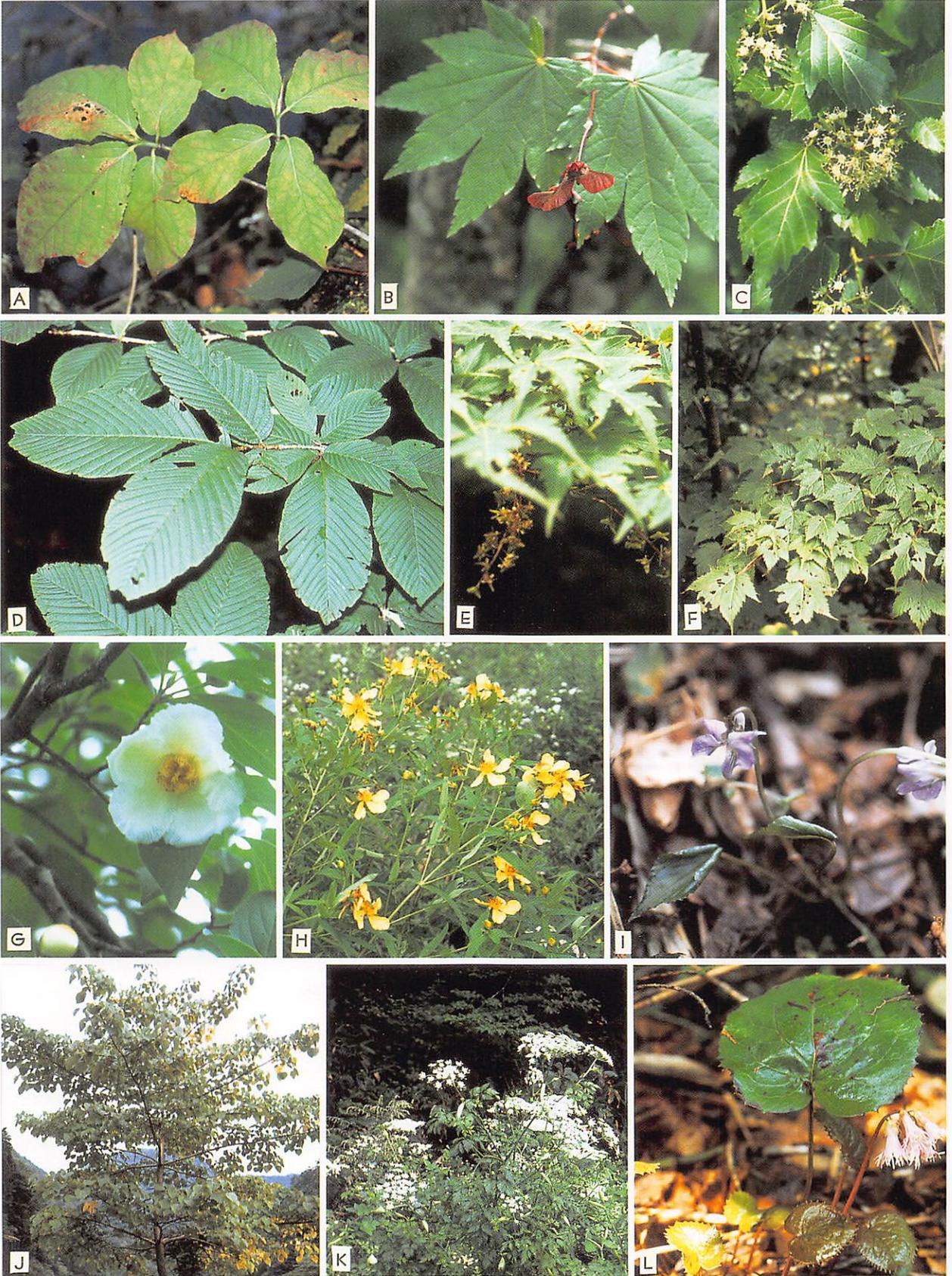


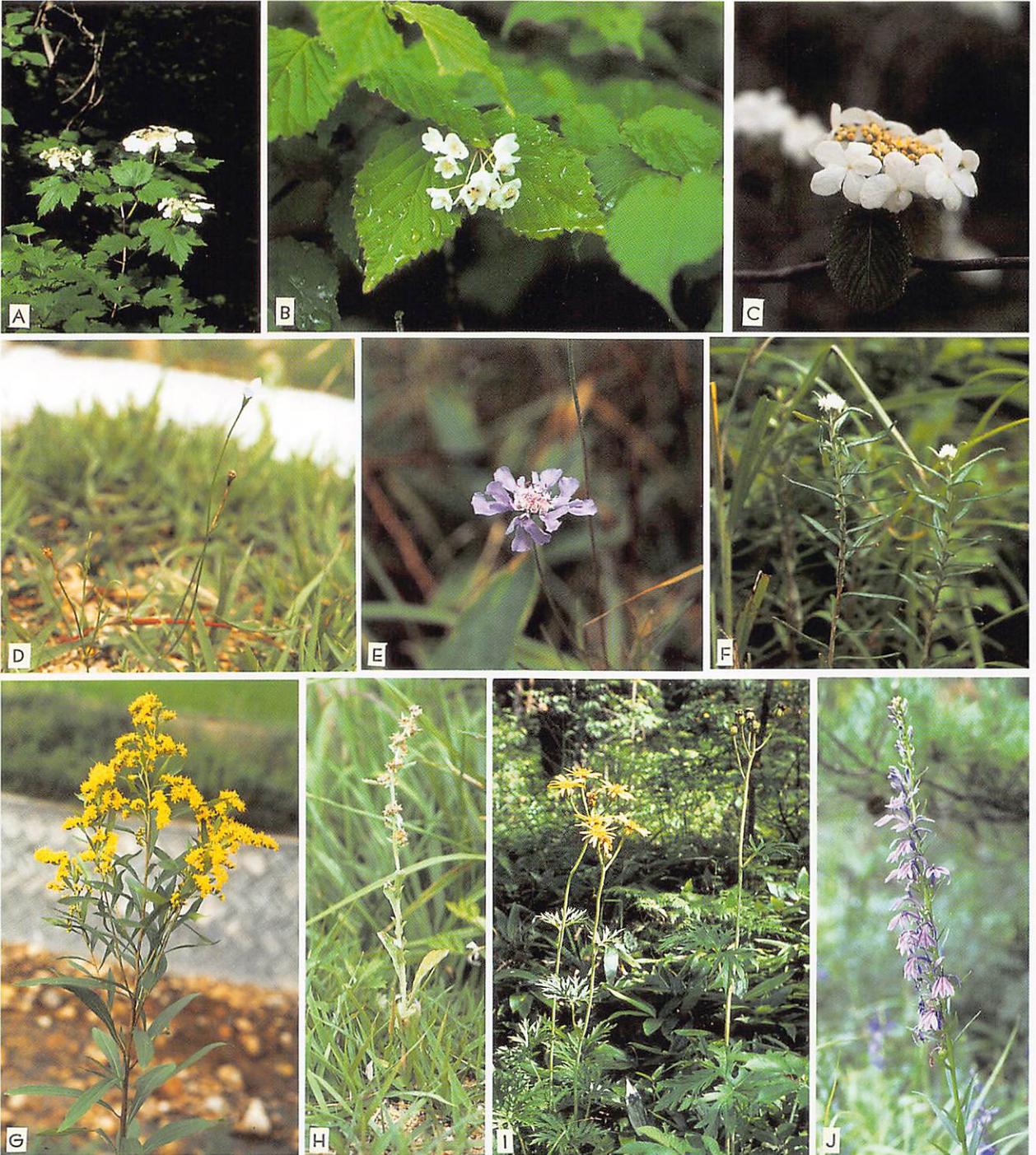
図 版 8

- A : キシツツジ *Rhododendron ripense* Maxim. 大暮川  
B : レンゲツツジ *Rhododendron japonicum* (A. Gray) Suringer 細見  
C : オオマルバノホロシ *Solanum megacarpum* Koidz. 西八幡原  
D : ハルリンドウ *Gentiana thunbergii* (G. Don) Griseb. 聖湖キャンプ場  
E : サクラソウ *Primula sieboldii* E. Morren. 小原  
F : アカモノ *Gaultheria adenothrix* (Miq.) Maxim. 東八幡原  
G : アサザ *Nymphoides peltata* (Gmel.) O. Kuntze 二川キャンプ場  
H : ツルニガクサ *Teucrium viscidum* Blume var. *miquelianum* (Maxim.) Hara 枕  
I : モウズイカ *Verbascum blattaria* Linn. 千町原  
J : ミゾホオズキ *Mimulus nepalensis* Benth. var. *japonica* Miq. ex Maxim. 雲月山  
K : ツクシゴメグサ *Euphrasia multifolia* Wettst. 二川キャンプ場  
L : シオガマガク *Pedicularis resupinata* Linn. 二川キャンプ場

图版 8



- A : カンボク *Viburnum sargentii* Koehne 長者原  
B : オトコヨウゾメ *Viburnum phlebotrichum* Sieb. et Zucc. 長者原  
C : オオカメノキ *Viburnum furcatum* Blume 長者原  
D : ヒナギキョウ *Wahlenbergia marginata* (Thunb.) A. DC. 千町原  
E : マツムシソウ *Scabiosa japonica* Miq. 二川キャンプ場  
F : ホソバナヤマハハコ  
*Anaphalis margaritacea* (Linn.) Benht. et Hook. fil. var. *angustifolia* (Franch. et Savat.) Hayata 雲月山  
G : オオアワダチソウ *Solidago gigantea* Ait. var. *leiophylla* Fern. 西八幡原  
H : チチコグサモドキ *Gnaphalium purpureum* Linn. var. *spathulatum* (Lam.) Baker 千町原  
I : ハンカイソウ *Ligularia japonica* (Thunb.) Less. 千町原  
J : サワギキョウ *Lobelia sessilifolia* Lamb. 長者原



- A : サワオグルマ *Senecio pierotii* Miq. 細見  
B : モミジガサ *Cacalia delphiniifolia* Sieb. et Zucc. 臥竜山  
C : ニシノヤマタイミンガサ  
*Cacalia yatabei* Matsum. et Koidz. var. *occidentalis* F. Maekawa ex Kitam. 臥竜山  
D : オオハンゴンソウ *Rudbeckia laciniata* Linn. 千町原  
E : オオカニコウモリ *Cacalia nikomontana* Matsum. 溝口  
F : サワシロギク *Aster rugulosus* Maxim. 俵原  
G : キセルアザミ *Cirsium sieboldii* Miq. 長者原  
H : リュウノウギク *Chrysanthemum makinoi* Matsum. et Nakai 雲月山  
I : ホクチアザミ *Saussurea gracilis* Maxim. 雲月山  
J : タムラソウ *Serratula coronata* Linn. var. *insularis* (Iljin) Kitam. 長者原



高原の自然史第1号に以下の間違いがありましたのでご訂正下さい。

- p.40 : 24行(line), p.49 : 6行, p.50 図版(plate) A  
誤 ヤマトミクリ → 正 ナガエミクリ  
*Sparganium fallax* Graebn. *Sparganium japonicum* Rothert
- p.41 : 22行, p.52 図版 B  
誤 Presl → 正 (Burm. fil.) Presl
- p.41 : 28行, p.52 図版 E  
誤 コバイケイソウ → 正 バイケイソウ  
*Veratrum stamineum* Maxim. *Veratrum grandiflorum* (Maxim.) Loes. fil.
- p.42 : 13行, p.52 図版 H  
誤 Maxim. → 正 Maxim., pro p.
- p.43 : 1行, p.54 図版 F  
誤 アケボノシュスラン → 正 ミヤマウズラ  
*Goodyera foliosa* (Lindl.) *Goodyera schlechtendaliana* Reichb. fil.  
Benth. var *laevis* Finet.
- p.43 : 10行 → 「本種についての学名は、佐竹ら(1989)に従った。」の部分を削除する。
- p.46 : 27行, p.64 図版 A  
誤 Maxim. → 正 Makino
- p.46 : 35行, p.64 図版 E  
誤 Morren. → 正 Morren
- p.47 : 1行, p.64 図版 D  
誤 ハルリンドウ → 正 フデリンドウ  
*Gentiana thunbergii* *Gentiana zollingeri* Fawcett  
(G. Don) Griseb.
- p.112 : 20行 誤 1982 → 正 1928  
p.112 : 23行 誤 1951 → 正 1942
- p.299 : 21行 誤 留鳥 → 正 夏鳥  
p.306 : 29行 誤 1羽 → 正 5羽  
p.384 : 3行 誤 12月24日 → 正 10月24日
- p.436 : 5行 → (撮影 河津 功) を入れる